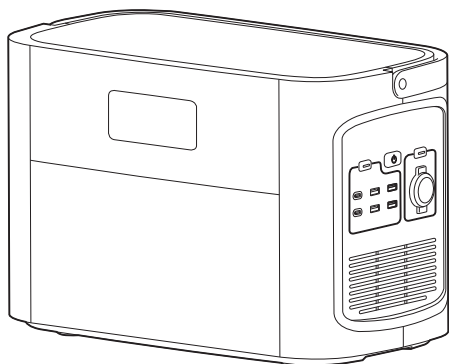


KOSHIN



BPS-12L ポータブル電源 取扱説明書（保証書付）

用途

家電製品への電力供給

用途以外の目的に使用しないでください

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も保管してください。
- 本機を他人に貸す場合は、取り扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けてください。

改良のため、予告なく仕様をある変更する場合があります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

乱丁、落丁はお取り換えします。

製品アンケートご協力をお願い

より良い商品開発の
参考にさせていただきますので、
アンケートへのご協力をお願いいたします。



- アンケートの実施については予告なく変更・削除されることがあります。
- 通信料金はお客様のご負担となります。

目次

はじめに

安全上のご注意	2
各部の名称と付属品	6

準備

運搬する	10
設置する	11

使用方法

本機を充電する	12
電気の取り出し	15
停止のしかた	18

保守・点検

お手入れと保管	19
「故障かな？」と思ったら（故障と処置）	20

その他

仕様	23
パーツのご注文は	26
保証書	27

株式会社 **工進**

25-10 064003005

はじめに

準備

使用方法




保守・点検

その他

安全上のご注意

使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。


■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



 危険	人が死亡、または重傷を負うおそれの高い内容です。
 警告	人が死亡、または重傷を負うおそれのある内容です。
 注意	人が傷害を負う、および本機やほかの財産に物的損害が発生するおそれのある内容です。



■ お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ その他の表示

 ここがポイント！	正しい操作のしかたや守っていただく要点などを示しています。
----------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------

 危険
 本機を水洗いしない 電装部品の事故やショートが起きる原因になります。また湿気や凍結により、使用時に感電する原因になります。

 警告
 強い衝撃を与えたり、落下させたりしない また、変形破損した場合は使用しない 火災やヤケド、感電やケガの原因になります。

安全上のご注意

警告



付属の充電ケーブル以外で充電しない

発熱や発火の原因になります。



医療機器その他本製品の不具合により回復困難な損害が見込まれる機器への接続はしない



ペースメーカーなどの電子医療機器の植込みなど治療をされている方は、医師や医療用機器製造者に影響を確認してから使用する

本機の使用時には電磁波が発生します。



改造、分解、修理をしない

発熱や発火、感電の原因になります。



充電ケーブルやコード、プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、発火や感電の原因になります。



湯気、ほこり、油煙、腐食性ガスなどが多い場所では使用しない
発熱、発煙、感電の原因になります。



火の中へ入れたり、加熱したりしない

また、火のそばや炎天下、ストーブの近く、高温になった車内など、高温の場所で使用しない
発熱や破裂、発火の原因になります。



雨や水のかかる所で使用しない
ぬらさない、ぬれた手で触らない
発熱や発火、感電の原因になります。



AC出力は電力会社からの電器配線や屋内配線には絶対に接続しない

火災や人身事故、本機や接続機器が故障する原因になります。



出力端子を使用して入力しない
火災や故障の原因になります。



家庭用AC100 V電源、または車のDC12 V電源で充電する
火災や故障の原因になります。



充電は国内で行う

海外など異なる電源電圧で使用すると、火災や故障の原因になります。



本機に電気機器の電源プラグを接続する際は、プラグを根元まで確実にさし込む

さし込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。



専用AC充電ケーブルの電源プラグとコンセントの間にほこりがたまっていないことを確認する
発熱、発火による火災発生の原因になります。



充電用入力端子、ACコンセント、USB出力端子をショートさせない

感電やケガの原因になります。

安全上のご注意

警告



異臭、発熱、変色、変形がおきたときは、使用しない

電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。



電池の液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗った後、医師の治療を受ける

放置すると、目に障害を与える原因になります。



万一、電池の液漏れが起きた場合はすぐに火気から遠ざける

漏れた液や気体に引火して発火のおそれがあります。



幼児・子どもが触れないよう、隔離措置をして安全な場所で使用する



雨や水、海水などの当たる所、また湿気やほこりの多い所や、高温となる所に保管しない

絶縁性能が低下し、発熱・発火の原因になります。また、高温下での保管はバッテリーの寿命を縮める場合があります。



電源プラグ、コード、コネクターなどに損傷や変形がある充電ケーブルは使用しない

感電、ショート、発火の原因になるおそれがあります。



延長コードを使用するなどして、屋外で電源プラグを接続する場合は、雨や水、海水などかからないように注意する

感電の原因になるおそれがあります。



付属のシガーソケットケーブル以外使用しない

また、車の12Vアクセサリー電源以外に接続しない

発熱や発火の原因、充電ケーブルの破損につながるおそれがあります。



電源プラグを接続する場合は、水などかからないように注意する
感電の原因になるおそれがあります。



本機を家庭ゴミと一緒に廃棄しない

ゴミ収集車内や集積場での発煙・発火の原因になります。



使用温度範囲を遵守する

使用温度が高すぎる場合、バッテリーの発火を引き起こす危険性があり、使用温度が低すぎる場合、製品性能が大幅に低下し、正常に使用できない場合があります。



浸水した場合、完全に乾くまで本機に近づかない

周囲に発火物がなく、人から遠ざけた場所に置き、本機を安全に乾燥させ、乾いた後は絶対に使用せず適切に廃棄してください。

安全上のご注意

注意



本機は、水平で安定した場所に設置する

落下や転倒してケガをするおそれがあります。



高温になった車内など、高温の場所で使用しない

バッテリーが早期劣化するおそれがあります。



純正品、指定部品を使用する
事故やケガの原因になります。



本機の上に重い物（目安：10kg以上）を載せない

本機の破損や物が落下したときにケガの原因となります。



設置の際は、本機と床やテーブルなどの間に手を挟まないように注意する

■ 廃棄について

廃棄の際は取扱説明書裏面に記載の「お客様相談窓口」または購入店までお問い合わせください。



リチウムイオンバッテリーはリサイクルへ

Li-ion



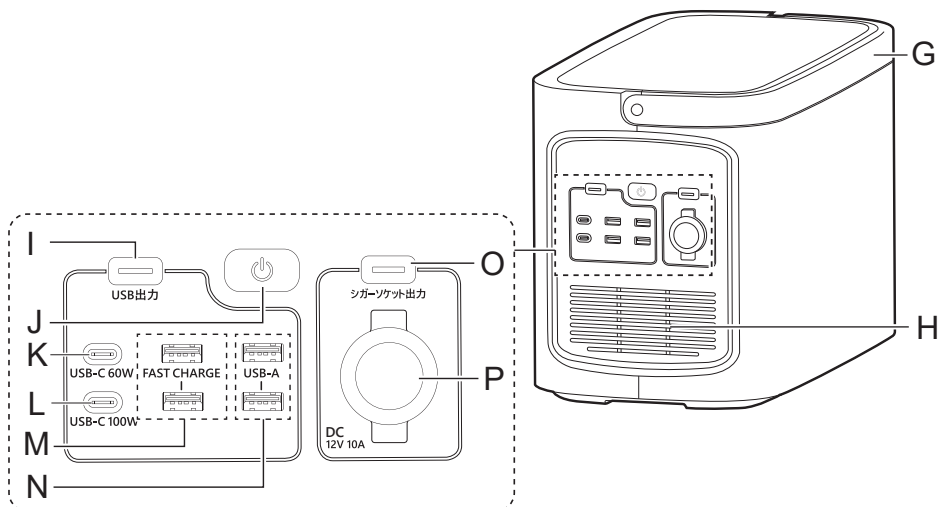
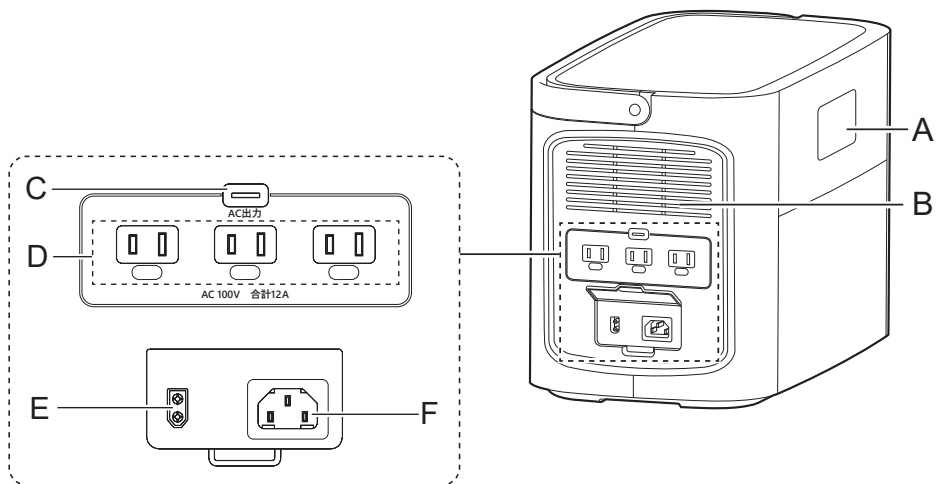
ここがポイント！

- 本機を廃棄するとき、一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。

各部の名称と付属品

1. 各部の名称

1.1 本体



各部の名称と付属品

A. LCDパネル

(8ページ「1.2 LCDパネル」参照)

B. 排気口

C. AC出力電源ボタン

D. AC出力端子 (100 V合計12 A)

AC出力用のコンセントです。コンセントへプラグをさし込む場合は、接触不良、抜けのないように確実に行ってください。

E. DC入力端子

F. AC入力端子

G. ハンドル

本機を移動させるときに持ちます。

H. 吸気口

本機内部を冷やすための空気の取入口です。
ここが詰まると本機が故障するおそれがあります。

I. USB出力電源ボタン

J. メイン電源ボタン

長押し：本機の電源入/切

短押し：LCDパネル表示と非表示の切り替え

充電ケーブルを接続すると自動的に電源が入ります。

充電中は電源を切ることができません。

K. USB TYPE-C 出力端子 (60 W)

L. USB TYPE-C 出力端子 (100 W)

M. USB TYPE-A 出力端子 FAST CHARGE (18 W)

N. USB TYPE-A 出力端子 (5 V/2.4 A)

O. シガーソケット出力電源ボタン

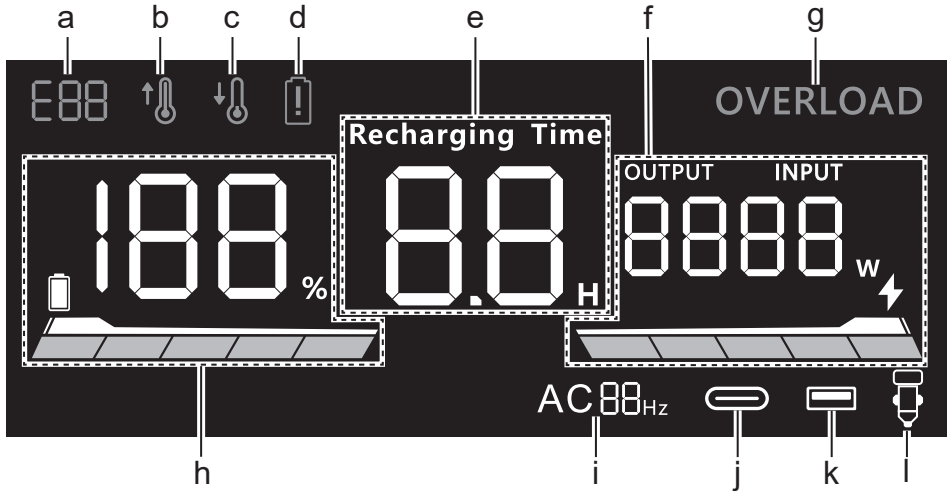
P. シガーソケット (DC12 V 10 A)

DC出力端子です。

取り出し方は16ページの「3. シガーソケット (DC電源)」を参照してください。

各部の名称と付属品

1.2 LCDパネル



a. Eコード (お知らせコード)

本機の故障を検出したときに表示します。
(20ページ「故障かな?」思っ
たら (故障と処置) 参照)

b. 高温警告ランプ

バッテリーの高温異常を検出したとき
に点滅します。電気の取り出しや充電
はできません。
本機の内部温度が適正になるまで点灯
します。

c. 低温警告ランプ

バッテリーの低温異常を検出したとき
に点滅します。電気の取り出しや充電
はできません。
本機の内部温度が適正になるまで点灯
します。

d. バッテリー残量警告ランプ

バッテリーの残量が異常に少ないとき
に点滅します。速やかに充電してくだ
さい。

e. 充電時間/残り時間表示

充電または電気の取り出しの完了まで
の残り時間を表示します。充電と電気
の取り出しを同時に行う際に、充電の
電力が取り出す電力より多い場合は充
電の残り時間を表示します。

f. 合計出力電力/合計入力電力表示

AC出力電源ボタン、USB出力電源ボ
タンまたはシガーソケット出力電源ボ
タンを押すと表示します。出力と入力
を同時に行う場合、5秒ごとに交互に
表示します。

g. 過電流警告ランプ

本機の最大出力を超える電気機器を
使用するなどして、過電流状態を検出
したときに点灯します。点灯時は電気
の取り出しや充電はできません。

- モーター使用の機器など一部の電気
機器では、本機の最大出力以下でも
過電流となりランプが点灯する場合
があります。

各部の名称と付属品

h. バッテリー残量表示

電源を入れるとバッテリーの残量を表示します。

i. AC 出力表示

AC 出力電源ボタンを押すと点灯します。AC 出力の出力周波数 (50 Hz/60 Hz) を表示します。

周波数の切り替え方は15 ページの「2. AC 電源」を参照してください。

j. USB TYPE-C 端子の出力表示

USB TYPE-C 出力端子を使用しているときに点灯します。

k. USB TYPE-A 端子の出力表示

USB TYPE-A 出力端子を使用しているときに点灯します。

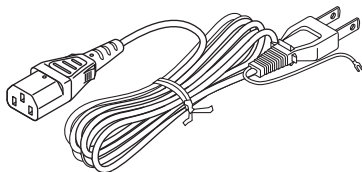
l. シガーソケットの出力表示

シガーソケットを使用しているときに点灯します。

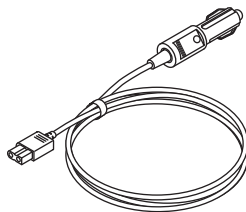
1.3 付属品

同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。

専用AC充電ケーブル



専用シガーソケット充電ケーブル



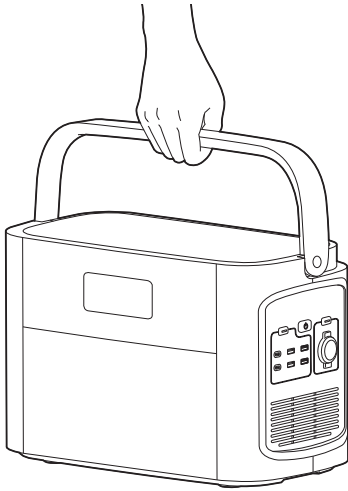
取扱説明書 (本誌)

運搬する

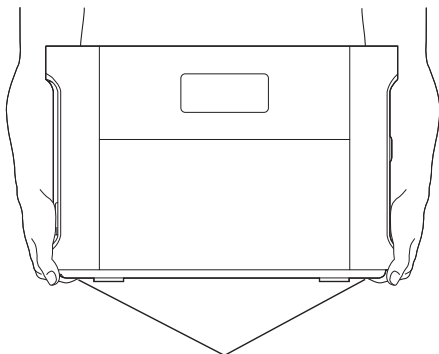
本機の移動や運搬時には、次のことを必ず守ってください。

1. 移動

ハンドルをしっかりと持って移動させてください。



底面の凹みを持って移動させることもできます。

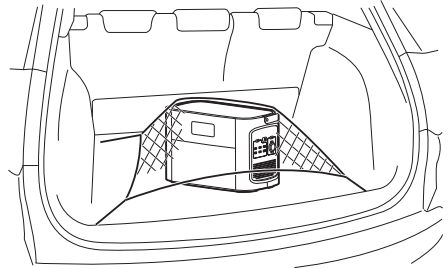


凹み

2. 運搬

2.1 車両での運搬

- 1) 本機が落下、転倒、破損などしないような場所に積載する
- 2) ロープなどでしっかり固定する



2.2 船舶や航空機での運搬

本機を船舶や航空機で運搬する際は、リチウムイオン電池を内蔵しているため、法律や規則に従った対応が必要です。詳しくは輸送業者にご確認ください。

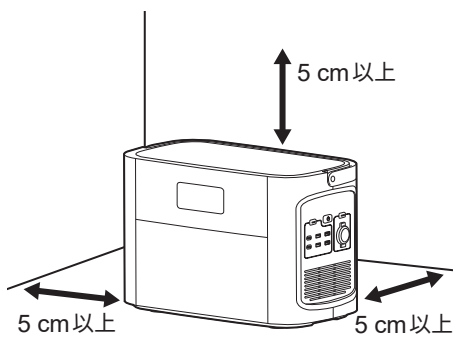
設置する

本機を設置するときは、水平で安定した場所に設置してください。
落下してケガをするおそれがあります。



ここがポイント！

- 風通しが良い
- ぬれる所、夜露にさらされる所には置かない
- 物および他の設置物から5 cm 以上離れている（図参照）
- 吸気口と排気口をふさがない



■ 吸気口と排気口について

本機には吸気口と排気口があります。
使用中に内部温度が上昇した場合、冷却ファンを作動させ送風することで内部を冷やします。

冷却ファンは動作確認のため、電源ボタンを押したときも数秒間作動します。



ここがポイント！

- 内部の冷却ができないと高温警告ランプが点灯し、電気の取り出しや充電ができなくなります。その場合は風通しの良い場所に移し、本機の温度が下がってから再度電源を入れてください。

本機を充電する

1. 充電について

満充電でも運転時間が著しく短くなったと感じた場合は、バッテリーの残量表示のずれなどの可能性があります。22ページ「バッテリー残量の表示ずれ補正」をお試しください。



ここがポイント！

- 充電は、使用環境温度（充電時）の範囲で行ってください（23ページ「主な仕様」参照）。
- 本機を移動するなどして周囲温度が大きく変化したときは、しばらくしてから充電してください。温度が変化した直後に充電すると、バッテリー容量の低下を引き起こすおそれがあります。
- 使用環境温度（充電時）の範囲外で充電をした場合、高温警告ランプまたは低温警告ランプが点灯することがあります。点灯したときは、適正な温度環境下に2時間ほど置いてランプが消えたことを確認して充電してください。
- 消費電力の大きい電気機器を長時間使用した直後に充電すると、過電流警告ランプが点灯して充電できないことがあります。
- 付属の充電ケーブル以外では、本機の充電をしないでください。
- 充電ケーブルの接続先の電源容量が不足していると、充電時間が延びたり、LCDパネルの表示が消灯したりします。電源容量をご確認ください。
推奨電源容量
 - 専用AC充電ケーブル：
100 V, 12 A 以上
 - 専用シガーソケット充電ケーブル：
12 V, 10 A 以上

本機を充電する

2. 充電する

作業前に必ず2ページの「安全上のご注意」をお読みください。



ここがポイント！

- 電源プラグを抜きさしするときはコードを持たず、電源プラグを持ってください。
- たこ足配線による充電はしないでください。

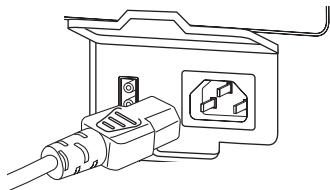


ここがポイント！

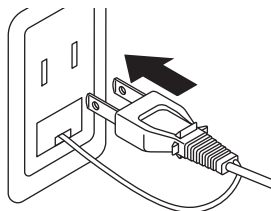
- 充電時、緑のアース線をプラグに挟まないでください。
- 本機を使用する前に、アース線をコンセントにある「アース端子さし込み口」に取り付けることを推奨します。アース線の取り付けは必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

2.1 専用AC充電ケーブルで充電する

1) 専用AC充電ケーブルを本機のAC入力端子に接続する



2) 電源プラグを家庭用100 Vコンセントに接続する



3) 充電が終わったら、専用AC充電ケーブルを本機およびコンセントから抜く

本機を充電する

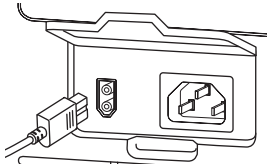
2.2 専用シガーソケット充電ケーブルで充電する



ここがポイント！

- 12 V アクセサリーソケット装着車に使用できます。一部の車種では使用できない場合があります。
- 24 V アクセサリーソケットには使用できません。
- 車両側のバッテリー電圧が低い場合、低電圧異常を検知して充電できない場合があります。その際は、車両をしばらく走行させた後、専用シガーソケット充電ケーブルを接続しなおしてください。

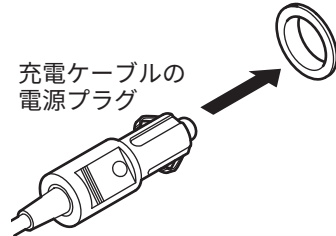
1) 専用シガーソケット充電ケーブルのコネクターを本機のDC入力端子に接続する



2) 充電ケーブルの電源プラグを車の12 V アクセサリーソケットに接続する

本機の充電時入力定格電流は12 V 車両で8 Aです。車のシガーソケットの消費電流定格をご確認ください。

車のアクセサリーソケット



ここがポイント！

- 24 V 車両に使用しないでください。

3) 充電が終わったら、専用シガーソケット充電ケーブルを本機および車のアクセサリーソケットから抜く

電気の取り出し

作業前に必ず2ページの「安全上のご注意」をお読みください。



ここがポイント！

- バッテリーの特性上、低温環境では使用時間が常温環境（25℃前後）より短くなる場合があります。

1. USB

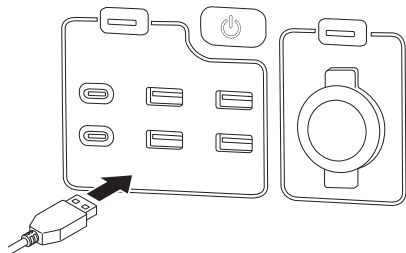
1) メイン電源ボタンを長押しして、電源を入れる

2) USB出力電源ボタンを押す

USB TYPE-CまたはUSB TYPE-A端子の出力表示が点灯し、USB出力が可能になります。

3) 接続機器のプラグをUSB出力端子に確実にさし込む

接続機器に電源スイッチがある場合は、接続前に電源を切ってください。



ここがポイント！

- 1つの端子から取り出せる電流を超える電気機器を接続すると、出力電圧が下がり接続機器が停止する場合があります。
- USB TYPE-Cで100 Wを出力するには100 W対応以上のケーブルをご使用ください。

2. AC電源

AC電源の使用できる範囲は24ページの「2. 対応する接続機器の目安」を参照してください。

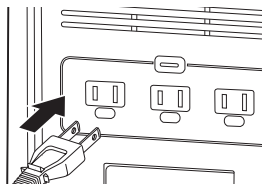
1) メイン電源ボタンを長押しして、電源を入れる

2) AC出力電源ボタンを押す

AC出力表示が点灯し、AC出力が可能になります。

3) 接続機器のプラグをコンセントに確実にさし込む

接続機器に電源スイッチがある場合は、接続前に電源を切ってください。消費電流の合計が上限を超えないようにしてください。
消費電力の合計：1200 W以下



電気の取り出し

■ 周波数を切り替えるとき

メイン電源ボタンを長押しして電源を切ります。

そのあとAC出力電源ボタンを押しながら、メイン電源ボタンを長押ししてください。LCD点灯後、そのまま約2秒押し続けると切り替わります。



4) 接続機器の電源を入れる

LCDパネルの各表示を確認してください。

(8ページ「1.2 LCDパネル」参照)



ここがポイント！

- 延長コードを使用する場合、接続機器の仕様を確認のうえ、コードの断面積 1.5 mm^2 のときは60 m以下、 2.5 mm^2 のときは100 m以下のものを使用してください(弾力があるゴム絶縁ケーブル(IEC60245-4による)またはその同等品のみ)。
- ACコンセントから取れる電力は、3つの合計で1200 W (VA) までです。合計が1200 W (VA) を超える電気機器を接続すると、保護回路により過電流警告ランプが点灯し出力が停止します。本機の最大出力以下でも過電流となりランプが点灯する場合があります。
- 一般的にモーター類は消費電力の2~3倍の電力が起動時に必要となります。

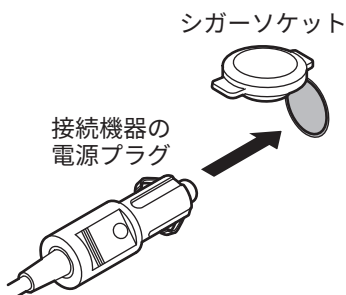
3. シガーソケット (DC電源)

- 1) メイン電源ボタンを長押しして、電源を入れる
- 2) シガーソケット出力電源ボタンを押す

シガーソケットの出力表示が点灯し、DC出力が可能になります。



- 3) 接続機器の電源プラグをシガーソケットに確実にさし込む



電気の取り出し

《不要な放電を防ぐための機能》

本機には、専用AC充電ケーブルでACコンセントにつながっていないときにバッテリーのムダな放電を防ぐために次の「自動停止機能」があります。

自動停止機能を使いたくない場合は、本機を専用AC充電ケーブルでACコンセントにつないだままにしてください。 DC入力端子からの入力だけでは、自動停止機能が作動します。

1. 自動停止機能

1.1 オートポートオフ (出力自動停止)

AC・シガーソケット・USB出力をオンにしても、次のどちらかの場合、約12時間後に自動で出力をオフにします。そのとき、各出力ボタンのランプとLCDパネルの該当表示が消えます。音は鳴りません。

- AC・シガーソケット・USB出力端子につながっている電気機器が、待機中などでほとんど電気を使っていない（目安：約10W以下）
- 電気機器が繋がっていない

1.2 オートパワーオフ (本体電源の自動停止)

次の両方の条件に当てはまる場合、約30分後に本体の電源を自動でオフにします。 そのとき、LCDパネルの表示がすべて消え、音が鳴ります。

- AC・シガーソケット・USB出力がすべてオフになっている
- 内蔵バッテリーに充電が行われていない

停止のしかた

作業前に必ず2ページの「安全上のご注意」をお読みください。

1) 接続機器の電源を切る

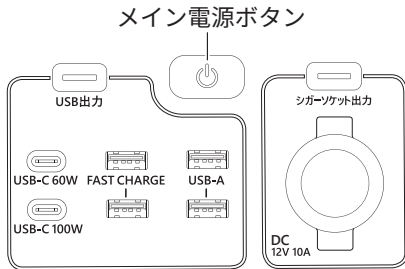
2) 接続機器のプラグをコンセントやシガーソケット、USB出力端子から抜く

3) 電源ボタンを押し、電源を切る

■ すべての使用を停止するとき

メイン電源ボタンを長押しする

- 停止後はLCDパネルが消灯していることを確認してください。

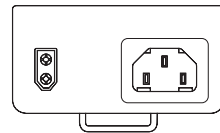
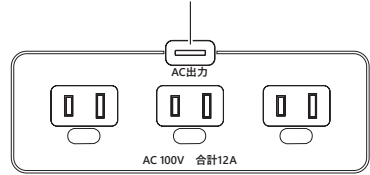


■ ACコンセントのみ使用を停止するとき

AC出力電源ボタンを押す

- 停止後はAC電源ランプが消灯していることを確認してください。

AC出力電源ボタン／ランプ

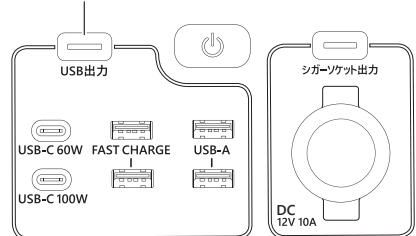


■ USB出力端子のみ使用を停止するとき

USB出力電源ボタンを押す

- 停止後はUSB電源ランプが消灯していることを確認してください。

USB出力電源ボタン／ランプ



お手入れと保管

1. お手入れ

1) 乾いた布で全体をきれいに拭く

汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布につけて拭き、その後乾いた布で拭いてください。水分が残るとサビや故障の原因になります。



ここがポイント！

- 水およびガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。サビや故障の原因になります。

2. 保管

1) 「お手入れ」をすべて行う

(前項「お手入れ」参照)

2) 次のような所を避けて保管する

- 乳幼児、子どもの手の届く所や簡単に持ち出せる所
- 熱源のそばや、真夏の閉め切った自動車内など高温になる所
- 湿気の多い所
- 湿度や温度の急変する所
- 直射日光の当たる所
- 揮発性物質の置いてある所







3. 長期保管

バッテリー保護のため、バッテリーを充電してから保管してください。また、その後も半年に1回は充電してください。










「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

定期点検以外の分解・修理は絶対にしないでください。

修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください

症状／表示	考えられる原因	処置	参照ページ
メイン電源ボタンが点灯しない 	バッテリー残量が少ない	充電後メイン電源を入れる	12
USB出力表示が点灯しない  	バッテリー残量が少ない	充電後メイン電源を入れる	12
AC出力表示が点灯しない	バッテリー残量が少ない	充電後メイン電源を入れ、AC出力電源ボタンを押す	12
ACコンセントが使用できない	AC出力電源ボタンを押していない	メイン電源を入れ、AC出力電源ボタンを押す	15
	保護機能が動作している	他の表示／警告ランプに従う	—
過電流警告ランプが点灯している 使用中に出力が停止する   Eコード：3, 5, 25, 31, 41, 59, 60	過負荷になっている 接続機器に異常がある	メイン電源を切りすべての接続機器のケーブルと充電ケーブルを抜く 過負荷の原因または接続機器の異常を改善し、再度電源を入れて警告ランプが点灯しないことを確認する	24
充電時間を表示しない 	接続不良になっている	電源プラグ、充電コネクタが接続されていることを確認する 充電入力端子部に水や異物が付着している場合は除去する	13

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

表示	考えられる原因	処置	参照ページ
  Eコード： 27,30,42,44,50, 53,58,65,73	高温環境で設置、 使用している	メイン電源を切り、常温 (25°C前後)の環境に2時間 ほど置く。再度電源を入れ て、警告ランプが点滅しない ことを確認する	8 23
  Eコード： 52, 57, 65	低温環境で設置、 使用している		
  Eコード： 61, 63, 71	バッテリー残量が 少ない	充電する	12
 Eコード： 18, 56	AC延長ケーブル使 用により充電電圧が 低くなっている	メイン電源を切りすべての接 続機器のケーブルと充電ケー ブルを抜く 異常を改善し、再度電源を入 れてEコードを表示しないこ とを確認する	13
 Eコード： 7, 8, 17, 18, 21, 22, 55, 74, 75, 76, 77, 79, 82, 83	AC充電または DC充電側に異常が ある		
バッテリー残量表示 が急に変わる 表示された時間の通 りに使用できない	実際のバッテリー残 量と画面に表示され る残量がずれている	「バッテリー残量の表示ずれ 補正」を行う	22
 Eコード： 64	バッテリーが満充 電（100%）になっ た	充電完了時に一時的に表示さ れることがあります（異常で はありません）	—

上記処置で改善が見られない、または上記以外のEコード（お知らせコード）を表示する
場合、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

「故障かな?」と思ったら (故障と処置)

使用環境 (接続する電気機器※、気温など) や充放電の回数によって、実際のバッテリー残量とLCDパネルに表示される残量がずれることがあります。この影響で、残量表示が急に変わったり、表示された時間とおりに使用できなくなる場合があります。

次の「バッテリー残量の表示ずれ補正」でずれを補正できますので、お試しください。

1. バッテリー残量の表示ずれ補正

1) バッテリーを0%になるまで使い切る

- 常温 (約25°C) の環境で行ってください。
- 電気機器を接続し、バッテリー残量がなくなるまで連続して使用します。
- 使用後は、接続機器を取り外し、本機のメイン電源を切ってから、1時間以上そのまま放置してください。

2) 0%から100%まで充電する

- 常温 (約25°C) の環境で行ってください。
- 付属のAC充電ケーブルを使用し、必ずバッテリー残量が100%になるまで充電してください。
- 充電後は、AC充電ケーブルを抜き、本機のメイン電源を切ってから、1時間以上そのまま放置してください。

1)~2)の手順を1~3回くり返してください。

3回試しても改善しない場合は、他の不具合の可能性もあります。取扱説明書の裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へお問い合わせください。

※ 接続する電気機器の消費電力が約10W以下の場合、ずれやすい傾向があります。

仕様

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

1. 主な仕様

機種名		BPS-12L
製品名		ポータブル電源
用途		家電製品への電力供給
内蔵バッテリー	タイプ	充電式リチウムイオン電池
	電池容量	1229 Wh
	充放電サイクル	約4000回(初期容量の70%以上を保持)
AC 出力	瞬間最大出力	2400 W (VA)
	定格出力	1200 W (VA)
	定格電圧	100 V
	定格電流	12 A
	定格出力周波数	50/60 Hz 切替式
DC 出力	USB TYPE-A 出力端子 ×2	5 V-2.4 A 各端子出力12 W、 合計24 W
	USB TYPE-A 出力端子 FAST CHARGE ×2	5 V-3 A 9 V-2 A 12 V-1.5 A 各端子出力18 W、 合計36 W
	USB TYPE-C 60 W 出力端子×1	5/9/12/15/20 V-3 A 出力60 W
	USB TYPE-C 100 W 出力端子×1	5/9/12/15 V-3 A 20 V-5 A 出力100 W
	シガーソケット出力端子 ×1	12 V-10 A 出力120 W
AC 入力		AC100 V-12 A、50-60 Hz 充電時間：約2時間
DC 入力	シガーソケット入力	12 V-8 A 充電時間：約14時間
使用環境温度	出力時	-10 ~ +40°C
	充電時	0 ~ +40°C
製品寸法		長さ 431 × 幅 236 × 高さ 288 mm
製品重量		17.5 kg

仕様

2. 対応する接続機器の目安

- ACコンセント（AC100 V）とDC電源は同時に使用できます。
- モーターなどの大きな起動電力を必要とする製品は、本機の出力可能な範囲内であっても、電気を取り出せない場合があります。

ACコンセントの使用数	出力
1つ	最大1200 W (VA)
2つ	合計で1200 W (VA)
3つ	合計で1200 W (VA)

■ DC電源の使用できる範囲

USB TYPE-A (5 V/2.4 A) ×2個	合計24 Wまで
USB TYPE-A FAST CHARGE (18 W) ×2個	合計36 Wまで
USB TYPE-C (60 W) ×1個	60 Wまで
USB TYPE-C (100 W) ×1個	100 Wまで
シガーソケット×1個	120 Wまで

使用例		単体運転
電気ポット オーブントースター 炊飯器 テレビ 照明（白熱灯、ハロゲンなど） スマートフォン タブレット	ACのみ	1200 W (VA) まで
	AC・DC 併用	合計1540 W (VA) まで
コンプレッサー ドリル ジグソー 掃除機 小型冷蔵庫 扇風機 照明（水銀灯、メタルハライドランプなど） ノートパソコン		モーターは起動電流の多い製品、 または種類によって使用できない 場合があります。電気機器会社 にお問い合わせください。

- ご使用の前に、使用する接続機器の消費電力を確認してください。
- 消費電力、使用可能時間・回数は参考値です。
- 周囲温度やバッテリーの使用回数の増加、経年により電気機器の使用時間は変動します。

仕様

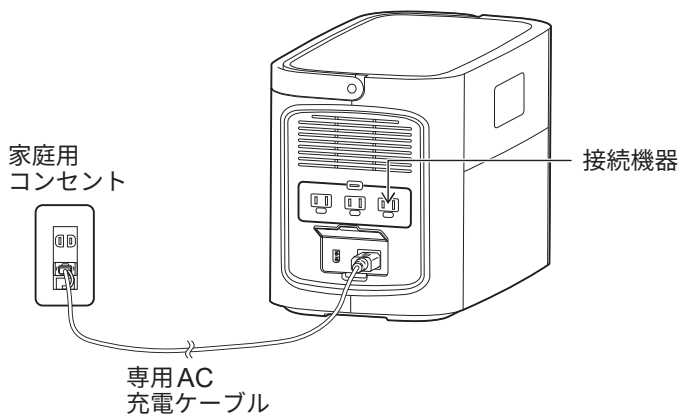
3. EPS 機能（非常用電源）

本機はEPS（非常用電源）機能に対応しています。

家庭用コンセントと本機のAC入力端子を専用AC充電ケーブルで接続することにより、バッテリーからではなく、家庭用コンセントからの電力供給で接続機器を使用することができます。

家庭用コンセントからの電力供給が停止した場合は、直接本機のバッテリーからの電力供給へ30 ms以内に自動的に切り替わります。

電気の取り出し方については15 ページの「電気の取り出し」を参照してください。



ここがポイント！

- 医療機器や、UPS 機能を必要とする機器（データサーバーやワークステーション）には接続しないでください。
- EPS 機能を使用する場合は、テストを充分に行ったうえで、お客様ご自身の責任においてご使用ください。
- EPS 機能により AC コンセントからバッテリーに切り替わった際、複数の機器を同時に接続している場合は過負荷保護機能が動作することがあります。EPS 機能での電力供給を主な目的とする場合は、接続機器は1台のみとし1200 Wを超えないことを推奨します。
- 誤ったご使用方法により、接続機器が正常に動作しない、データの消失などの状況が発生した場合、弊社は責任を負いかねます。

パーツのご注文は

パーツは、必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。

また、弊社ウェブサイトにてパーツ表、価格をご覧いただけます。

1. ご注文時のお願い

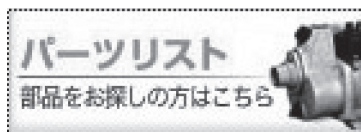
部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

2. パーツ表・価格

1) <https://www.koshin-ltd.co.jp>へ
アクセス



2) トップページ「パーツリスト」
バナーをクリック



保証書

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無償修理をお約束するものです。なお、本書によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無償修理いたします。製品と本書、レシート(販売証明書)をご準備のうえ「工進修理受付窓口」へご相談ください。

機種	BPS-12L ポータブル電源		※お買い上げ日	年	月	日
保証期間	お買い上げ日より2年間		※購入店	〒		
お客様	※お名前			住所		
	※ご住所	〒	店名			
	電話	()		電話	()	

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

<保証契約約款>

- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 不適切な使用、改造、取扱説明書に記載されている保守・点検以外の分解や修理、弊社指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷、日常点検やお手入れ、整備を怠ったことにより生じた不具合。
 - お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用(電圧、周波数、使用液、使用燃料など)や、使用環境要因による故障または損傷。
 - 取扱説明書に記載の用途以外の使用による故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合、また本書にお客様名、お買い上げ年月日・購入店名の記入またはレシート(販売証明書)の添付がない場合。
 - 本書の字句を書き換えられた場合。また中古販売にて購入したもの。
 - 同梱付属品、消耗品の交換。
 - 車両、船舶などへの取り付けや外部要因による故障または損傷(船舶への取り付けは弊社指定船舶用製品を除く)。
 - 保証期間内でも次の場合は補償いたしかねます。
 - 機能上影響のない感覚的現象(音、振動、操作感など)や使用損耗および部品寿命による不具合。
 - 製品の不具合や使用によって生じた直接ならびに間接の損害。
3. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 出張修理は対応いたしかねます(弊社指定製品を除く)。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外での購入ならびに使用については一切責任を負いません。
This warranty is valid only in Japan, also not covered for overseas purchase and use.
6. 弊社の判断により、修理に代えて同機種との交換、または同等性能を有する他機種への交換となる場合があります。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市
神足上八ノ坪12

レシート(販売証明書) 貼付位置

お問い合わせ

お問い合わせの際は、

- 型式 (右図参照)、
 - お買い上げ年月日、
 - 故障状況 など
- をお知らせください。

※本体または梱包箱に貼付しています。
一部ラベルのない製品もございます。



■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは

購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは……「工進修理受付窓口」へ

電話

0120-987-386 (通話料 無料) 平日: 9:00~17:00

会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。

ダイレクト修理

※北海道・沖縄を除く



①お電話または
メールで連絡



②修理品をお預け
(宅配業者が取りに
伺います)



③センターで
修理



④ご自宅まで
お届け



⑤お支払いは
クレジットカード
または代引き

■ 製品に関するお問い合わせは……「お客様相談窓口」へ

Q&A
Eメール

お客様
サポートページ▶



電話

キョウトのコーシン
0120-075-540 (通話料 無料)
平日: 9:00~17:00

会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、
弊社ウェブサイトにてご案内します。

Eメール pump@koshin-ltd.co.jp

【個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報保護方針は、弊社ウェブサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式
会社 **工進**

〒617-8511
京都府長岡京市神足上八ノ坪12
<https://www.koshin-ltd.co.jp>

